

香川県三豊市

生産性向上と設備の導入で付加価値向上 先端のIT技術を活用した情報化を推進

同社は、業務用及びOEMの冷凍トンカツを主力とした加熱冷凍食品を製造販売している。本社工場、観音寺工場で商品を製造しているが、関連事業として、精肉・精肉惣菜等の小売店であるミートピアサヌキや首都圏にトンカツ店5店舗を運営する株式会社坂井精肉店も傘下に持つ。販売先は、大手外食チェーン店、スーパーマーケット、コンビニ等全国に広がっている。特に業務用トンカツは国内において高いシェアを有する。

●所在地	香川県三豊市詫間町詫間2112-140	●設立	1980年
●電話/FAX	0875-83-6262/0875-83-6265	●資本金	9,000万円
●URL	https://www.meatpia-sanuki.com	●従業員数	165人
●代表者	代表取締役 増田 浩		



製造技術の応用で安定した品質の維持と商品開発力を確保

同社の技術的特長は、ハム、ソーセージの製造技術を使って、冷凍トンカツを製造しているところにある。このことにより、商品の形状及び重量のばらつきが極力抑えられる。その技術の中心は、豚肉に特殊な液を加えて漬け込み、その後、充填してプレスするところにある。この技術により、定量・定型の商品製造が可能となり、巻きかつ等、他社にない特殊形状のカツの製造も可能となる。FSSC22000の認証も取得している。



トンカツの生産工程の一部

設計開発プロセスの高度化と多様な業種へ進出し優位性を創出

製造する商品の設計・開発を受託者である同社が主体となっていくODM (Original Design Manufacturing) を推進し、受注型のOEMに加え提案型のODMによる優位性のある受注体制を確立している。また、食品製造業だけではなく、生肉加工技術を活かして、ハムやベーコン等の小売業やトンカツチェーンにも事業を広げ、シナジー効果を発揮するとともに、他社にない独自のビジネスモデルを構築している。



同社が提供している加工食品の一例

経営理念に基づく被災者・被災企業への支援と防災の取組

震災、豪雨災害等の被災地に対する義援金等の支援を実施している。引き続き、被災者や被災事業者への防災・復興支援について対応を検討していく。防災については、地域とも連携し、迅速な情報収集、緊急連絡網の整備、安否確認方法の明確化、防災訓練等を積極的に行い、地域の方々や社員、社員の家族を守り、支援するためにできることを実施していく方針である。



同社工場の外観